

FP Topics

= 災害リスクに備える =

2020年6月号

夏の台風シーズンも目前です。今月号は《災害リスクに備える》という内容で、災害リスクについて特集したいと思います。近年の自然災害は予測を大きく超えた甚大な被害をもたらしています。自然が自然を破壊する力は大きな脅威です。人工物などひとたまりもありません。年々増加する自然災害にそなえるための基本的な事項を再確認したいと思います。事前に準備しておくことが重要です。

= 基本的な準備 =

ハザードマップの確認

お住いの市区町村が発行しているハザードマップを入手して、避難場所と避難経路を確認しておきます。また、洪水・浸水等の危険な場所について、お住いの周辺だけではなく、通勤・通学路についても確認しておきます。

電気・水の確保

自宅で避難することを余儀なくされた場合を想定して、電気・水を準備しましょう。懐中電灯や蓄電池の他、ハイブリッドカーは非常用の電源としても有効です。雨水を利用する設備やアウトドアなどで使用する浄水器なども有効です。普段から使い方を練習しておくことが重要です。飲料水の備蓄はこれまで3日間程度とされていましたが、近年の自然災害では長期の停電や断水が生じていることから、多めに確保しておくことが望ましいです。

室内を安全に

大型家具の転倒防止対策。L字型金具で家具を壁に固定したり、突っ張り棒で天井と固定する方法など。ガラスの飛散に備える方法は、『合わせガラス』が最適と考えられていますが、飛散防止フィルムをガラスに貼る方法も有効です。ガラスの飛散に備えて、底の厚い靴を用意しておくことも有効です。

感震ブレーカーの設置

感震ブレーカーとは、震度5強の強い揺れを感知した場合に自動的にブレーカーを落とす装置のことで電気の供給を遮断し、電気が原因となる火災事故を防ぐことができます。簡易タイプのものは自分で取り付けることも可能で、家電量販店や某大手ネット通販でも購入できます。

食料の備蓄

家族の人数分×1週間分以上が基本的な目安とされています。家族全員分の7日分以上の食糧ですから、かなり大量になりますが、日頃から賞味期限等を確認する習慣をつけておき、随時買い足すようにしましょう。

日用品は多めに準備しておく

避難生活では、ポリ袋やラップ、ウエットティッシュなどは使用頻度が高く家族構成にあわせて、余分に準備しておくことを心がけるようにしておきます。

サバイバル生活をしてみる

実際に丸一日水道・ガス・電気などのライフラインを使用せずに、お家でサバイバル生活を経験してみるのも良いと思います。庭やベランダに実際にテントを張って生活してみるのも防災訓練になると思います。

家族独自の防災マニュアルを作成する

家族で避難ルートの確認や災害時の集合場所・連絡方法をあらかじめ決めておいたり、災害時ペットの預け先を探すなど、家族独自の防災マニュアルを作成することも検討しましょう。災害時、携帯電話が繋がり難いことは経験済みです。災害用のアプリや伝言ダイヤル、公衆電話の使い方も確認しましょう。

《台風シーズンへの備え》

地球温暖化の影響などで海水温が上昇し、近年では前例のない規模の台風が発生しています。記録的な暴風雨により、倒木、建物の損壊、浸水、長期間にわたる停電等大きな被害をもたらしました。

= 台風が接近したら =

▶ 庭やバルコニーを再度確認する

物干し竿やハンガーなど、強風で飛ばされるものは出ていないか。排水口はゴミ詰まりなどがあればきれいに取り除いておくこと。

▶ ライフラインを確保する

停電や断水に備えて、上記に記載したライフラインに必要なものをしっかり確認しておくことが重要です。近年、西日本で大きな被害をもたらした台風は記憶に新しいと思います。長期にわたるライフラインの断絶にも備えなければなりません。

▶ なるべく外出は控える

- ・風速25m/Sの風は、時速に換算すると90km/hになるそうです。木が折れるほどの風速です。
- ・川の増水に注意する、様子を見に行かない。
- ・エレベーターは閉じ込められる危険があるので、なるべく利用はさける。
- ・車での移動にも注意が必要です。20mm/h以上の降水量では、ワイパーやブレーキが利かなくなる恐れがあります。

▶ 避難勧告がでたら

- ・行政から避難勧告が出た場合には、火の元の確認、ブレーカーも落とし、しっかり戸締りを確認して、なるべく複数で行動するように心がけましょう。ハザードマップで確認した避難経路を使用して、避難場所に安全に避難します。
- ・既に暴風域に入っている、道路が冠水している、高齢者や乳幼児がいる場合などは、動かずに建物内にとどまった方が安全な場合もあります。状況によって判断する必要があります。

～今月の山便り～

今月の山便りは女王つながりで、北アルプスの女王『燕岳』と高山植物の女王『コマクサ』です。燕岳は北アルプス表銀座の入り口にあたります。中房温泉を起点として、合戦尾根を登り燕岳～大天井岳～東鎌尾根（喜作新道）を経て槍ヶ岳までの縦走コースです。表銀座といわれるだけのことはあり、お天気に恵まれれば、ずーっと槍ヶ岳を眺めながら歩けます。関西からは2泊3日（山小屋利用）で上高地までゆっくり歩ける北アルプスのお薦めコースです。コマクサは高山植物の女王と呼ばれており、日本では高山でしか観られません。燕岳にも群生しており写真のような砂礫地に自生しています。美しい可憐な容姿から花言葉は『高嶺の花』『気高い心』などです。全株に弱い毒性もあるそうですが、中央アルプスでは、明治・大正期に薬草として採りつくされて絶滅したと考えられています。現在中央アルプスで観られるものは、人工的に植えられたものです。南アルプスには分布していないようですが、南アルプスの夏の時期のお花畑は規模も大きく、たいへん美しいと記憶しています。今年の夏は時間が取れそうです、テントを担いで歩いてみたいと思います！

